

- 日本が自動運転車に求められる安全性能やその評価手法を提案し、専門家会議の共同議長国として議論を主導
- 本ガイドラインをもとに、今後、法的拘束力のある国連基準が策定される見込み。引き続き、共同議長国として議論をリードする予定

求められる安全性能

求められる安全レベル

- 交通法規を遵守すること
- 注意深く有能な人間ドライバーと同等以上の安全性を有すること 等

交通シナリオによる評価

以下の3つの分類毎に必要なシナリオを設定

- 通常交通状況
- 衝突の危険性がある場合
- 不具合発生時

乗員等とのインタラクション

- 乗員等にシステム作動状況や緊急時を知らせること 等

評価手法

安全性能の要件への適合性を下記手法にて評価

- 製造者の安全管理体制
- 自動運転車の性能テスト
 - シミュレーション
 - 試験路での試験
 - 実交通環境での試験
- 使用過程時のモニタリング

